

## 我が国の国家戦略上、港湾整備は必要不可欠！

- 世界の海上輸送貨物量が急増するなか、アジア地域を中心に全世界の物流構造は激しく変化。
- アジア主要港ではポストパナマックス級の超大型コンテナ船が続々就航。また、我が国の生命線ともいえる資源、食糧等を輸送する船舶も40万トン級の超大型船が建造中。
- これら、一括大量輸送によるコスト縮減を目指した輸送船の超大型化は、いまや世界的な潮流。にもかかわらず、我が国には、これら船舶の受け皿となれる港湾が皆無。
- 拠点となる港湾への「選択と集中」は当然としても、このままでは、我が国産業の海外流出など大きな影響を及ぼすことは必至。
- その対応を国家として誤れば、地域の疲弊を招き、ひいては国家の成長戦略に狂いが生じ、我が国は国力を減じ将来に重大な禍根を残しかねないおそれ。
- 加えて、港湾は、準天頂衛星システムの測位技術を活用した海洋資源探査の拠点、観光立国の推進に向けた客船クルーズの母港等々の活用や国民の安全・安心の確保に必要。
- 躍進するアジア市場の新たな需要を捉え、その成長力を我が国に積極的に取り込み、持続的な経済成長や国内雇用の維持・創出に直接つながる港湾への投資が、今こそ不可欠。
- このため、民主党港湾振興議員連盟としては、平成23年度港湾関係予算について、以下の事項が適切に反映され、我が国の持続的な成長を約束できる予算となるよう望む。